

平成17年度 技能検定
2級 広告美術仕上げ 学科試験問題
(広告面ペイント仕上げ作業)

1 試験時間 1時間40分

2 問題数 50題(A群25題、B群25題)

3 注意事項

- (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
- (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
- (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。

イ A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。

ロ B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。

ハ 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。

ニ 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。

- (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
- (9) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
- (10) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

[A群(真偽法)]

- 1 屋外広告の電気サインは、照明方法によって次の3種に分類される。
 - (1) 直射サイン
 - (2) 反射サイン
 - (3) 透過サイン
- 2 次のうち、木材の切り抜き文字の素材として適するものは(3)である。
 - (1) けやき (2) 松 (3) かつら
- 3 製図における尺度の表わし方は、現尺の場合はS 1 : 1, 倍尺の場合はS 1 : 2, 縮尺の場合はS 2 : 1と記す。
- 4 突出し広告板の振れ止めや筋かいの取付け角度は、30度くらいに取り付けるのが最もよい。
- 5 地上10m以上の建築物の屋上広告物と、外壁面に取り付けた広告物に作用する設計上の風圧力は、屋上広告物のほうが強い。
- 6 広告物を建築物に取り付ける場合は、その広告板の自重を保持できれば、風圧にも耐えることができる。
- 7 LED(発光ダイオード)は、低電圧、低電流で作動し小型軽量等の特色を持ち、青系の輝度も高くなり、色のバランスがよくなった。
- 8 エナメルは、油性塗料より刷毛さばきが重く、塗りにくい。
- 9 デザイン構成において、鋭角は鈍角より方向性が強い。
- 10 光を最もよく吸収する色は、赤色である。
- 11 ロゴタイプには、合成文字、2個以上の文字を組合せてマークにしたもの、社名や製品名を特定のスタイルで表現したレタリング、の3つの意味がある。
- 12 ローマン体のスペーシングは、セリフの間隔を同一寸法にするとよい。
- 13 屋外広告物は、より大きく、より色彩が目立つものであればよい。
- 14 建築基準関係法令によれば、原則、広告物の高さが4mを超える場合、工作物確認申請が必要である。
- 15 最大荷重1t未満のフォークリフトの運転業務は、特別教育や技能講習を受けない労働者が行ってもよい。

[A群(真偽法)]

- 16 つり足場の上で簡単な作業を行う場合は、脚立やはしごを使用してもよい。
- 17 からす口に使用する絵具の濃度は、平塗りに用いるものより濃くしなければならない。
- 18 エアレス・スプレーガンには、コンプレッサーを必要とする。
- 19 金属薄板の穴あけ用のホルソーは、プラスチック板の穴あけには使用できない。
- 20 塗料用シンナーは、合成樹脂塗料の稀釈に使用する。
- 21 セラックワニスは、アルコール以外の溶剤に溶けにくい。
- 22 油性アルミニウムペイントは、耐熱性に優れている。
- 23 アルミ樹脂複合板は直角に曲げることが容易である。
- 24 チャンネル文字の製作には、アルミ材、銅、真鍮、ステンレス等が適している。
- 25 金、銀、ミラー等のポリエステル系粘着シートは、通気性がないため、プラスチック板に貼ると気泡ができやすい。

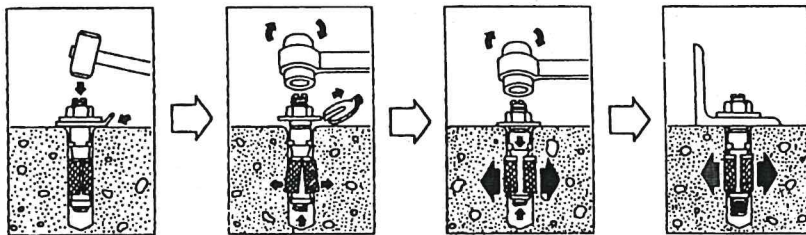
[B群(多肢択一法)]

- 1 屋上広告塔は、どの分類に属するか。
 - イ 形態による分類
 - ロ 設置位置による分類
 - ハ 製作材料による分類
 - ニ 照明による分類

- 2 内照式プラスチックサインを製作する場合の注意点として、誤っているものはどれか。
 - イ プラスチック板は熱で表側に膨らむ傾向がある。
 - ロ プラスチック板は熱で歪む傾向があるので、換気孔を設ける。
 - ハ フレーム付きの場合、夏と冬でプラスチックの伸縮差があることを考慮する。
 - ニ 風圧に耐えるプラスチック板厚と構造にする。

- 3 図面上の材料を示す記号と意味の組合せとして、誤っているものはどれか。
 - イ AB 石膏ボード
 - ロ AL アルミニウム
 - ハ CB コンクリートブロック
 - ニ LGS 軽量形鋼

- 4 下図の取付手順に示すアンカーボルトの型として、正しいものはどれか。



- イ 打ち込み型
 - ロ 締め付け型
 - ハ 薬液接着型
 - ニ 中空型
-
- 5 足場の外側に設ける通称「アサガオ」の設置目的として、正しいものはどれか。
 - イ 騒音防止
 - ロ 落下物防止
 - ハ 風圧防止
 - ニ 水漏れ防止

[B群(多肢択一法)]

- 6 アクリル系プラスチックの性質に関する記述として、誤っているものはどれか。
- イ 光の透過性が良い。
 - ロ 軟質である。
 - ハ 比較的燃えやすい。
 - ニ 耐候性が良い。
- 7 作業場内の環境を快適に保つことは、従業員の安全や健康、効率の良い作業を継続する上で重要であるが、作業場内の環境として要求されないものはどれか。
- イ 空気環境
 - ロ 温熱環境
 - ハ 視環境
 - ニ 水環境
- 8 鉄板に直に塗装し、長期間屋外に掲示する広告板を製作する場合に使用する塗料として、適切でないものはどれか。
- イ 合成樹脂塗料
 - ロ ラッカー塗料
 - ハ 油性塗料
 - ニ 酢酸ビニルエマルジョンペイント
- 9 文中の()内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
屋外広告でコミュニケーションを図る場合、情報の送り手は強い訴求力を期待することが多い。
しかし、その広告物が()とのバランスを欠くと住民の反発を招き、逆効果になることがある。
- イ 技術
 - ロ 景観
 - ハ 効果
 - ニ 視認性
- 10 「社会生活を営む人間の間に行われる知覚・感情・思考の伝達」と定義されている事項は、どれか。
- イ 広告
 - ロ 広報
 - ハ コミュニケーション
 - ニ 宣伝
- 11 錯視に関する記述として、適切でないものはどれか。
- イ S字形は、下部より上部が大きく見える。
 - ロ 正方形は横にわずかに長く見える。
 - ハ 正方形を上下に2等分したとき、上方が大きく見える。
 - ニ 半円を交互につないだ曲線は滑らかさに欠け、ぎこちなく見える。

[B群(多肢択一法)]

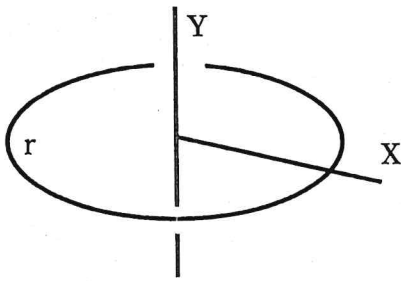
12 レイアウトを考える上でのバランスに関する記述として、適切でないものはどれか。

- イ 配色の強弱によってバランスが保たれる。
- ロ シンメトリーは、バランスが保たれる。
- ハ 重い形態を上部に配置すると安定する。
- ニ 大きな形態を中心に近づけると安定する。

13 3原色に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- イ 色料の3原色、光の3原色がある。
- ロ YMCに対するPGOの関係をいう。
- ハ 人間の視覚に最も刺激の強い3色をいう。
- ニ 自然界に、最も多い色である。

14 下図の色立体の概念図において、X・Y・rに当てはまる語句の組合せとして適切なものはどれか。



	X	Y	r
イ	彩度	明度	色相
ロ	明度	色相	彩度
ハ	色相	彩度	明度
ニ	明度	彩度	色相

15 サンセリフ書体「ユニバース」はどれか。

イ

ABCDEFGG
abcdefghijkl

ハ

ABCDEFGG
abcdefghijkl

ロ

ABCDEFGG
abcdefghijkl

ニ

ABCDEFGG
abcdefghijkl

[B群(多肢択一法)]

- 16 景観に関する文中の()内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
景観は人間が()に対する対し方に立脚しており、人間と()の関わりを理解する有力な現象である。
- イ 自然
 - ロ 文化
 - ハ 環境
 - ニ 人工物
- 17 塩化ビニル系プラスチックの性質に関する記述として、誤っているものはどれか。
- イ 光沢がにぶい。
 - ロ 柔軟性がある。
 - ハ バフ研磨によって光沢がでる。
 - ニ 傷がつきやすい。
- 18 塗装用刷毛として使用されないものはどれか。
- イ ダスター刷毛
 - ロ 羊毛刷毛
 - ハ 人造毛刷毛
 - ニ 馬毛刷毛
- 19 ラッカーを吹付け塗装したとき、みかん肌のような凹凸が生じた原因として適切なものはどれか。
- イ 塗料の粘度が高かったため
 - ロ 湿度が高かったため
 - ハ 塗料を薄めすぎたため
 - ニ 厚塗りしすぎたため
- 20 ラワン材のような目のある硬質材にOP仕上げをする手順として、誤っているものはどれか。
- イ 下塗り後、合成樹脂エマルジョンパテでパテしごきを行い、研磨し、OP仕上げする。
 - ロ 下塗り後、オイルパテでパテしごきを行い、研磨し、OP仕上げする。
 - ハ 下塗り後、よく乾燥して研磨し、厚めにOP仕上げする。
 - ニ 下塗り後、パテ、乾燥、研磨、OP、乾燥、研磨、OP仕上げする。

[B群(多肢択一法)]

21 刷毛塗りした面に仕上げ塗りの条線(筋目)が残ったとき、原因とその対策の組合せとして、適切でないものはどれか。

- | 原因 | 対策 |
|-----------------------------------|----|
| イ 刷毛の毛が粗い、短い・・・塗料の種類によって適切な刷毛を選ぶ。 | |
| ロ 塗装時低温・・・・・・・・・・少量の希釈剤を加える。 | |
| ハ 粘度が高い・・・・・・・・・・希釈剤を加え適正な粘度で塗る。 | |
| ニ 塗装時高温・・・・・・・・・・毛の粗い刷毛で塗る。 | |

22 塗面にチリメン状のちぢみやつやむらができる原因とその対策の組合せとして、適切でないものはどれか。

- | 原因 | 対策 |
|--|----|
| イ 下塗りの乾燥不十分なまま上塗りをした。・・・上塗りに乾燥促進剤と希釈剤を加える。 | |
| ロ 上塗塗料の溶剤が下塗りをおかした。・・・適正な塗装時間の間隔を守る。 | |
| ハ 上塗りを高温で乾燥促進した。・・・・・・・・自然乾燥する。
乾燥温度に注意する。
直射日光を避ける。 | |
| ニ 一度に厚塗りした。・・・・・・・・上乾きし、ちぢみを生じるので適量を守る。 | |

23 アルミニウム面の塗装前に行う素地調整の方法として、適切なものはどれか。

- イ ラッカーシンナーで拭く。
- ロ 中性洗剤で洗浄する。
- ハ 研磨紙で肌を粗くする。
- ニ エッチングプライマーを塗布する。

24 亜鉛引鉄板張り広告板を粘着シートで全体に貼り込む作業に関する記述として、適切なものはどれか。

- イ ペイントによる下地塗装が必要である。
- ロ 素地調整が必要である。
- ハ プライマー塗装が必要である。
- ニ 防せい処理が必要である。

25 粘着シートの被着体への接着力が、最も弱い被着体はどれか。

- イ 合板
- ロ 鉄板
- ハ アクリル板
- ニ 塩化ビニル板

平成17年度(前期)技能検定 学科試験正解

広告美術仕上げ / 広告面ペイント仕上げ作業【2級】

真偽法

番号	1	2	3	4	5
解答	○	○	×	×	○

番号	6	7	8	9	10
解答	×	○	○	○	×

番号	11	12	13	14	15
解答	○	×	×	○	×

番号	16	17	18	19	20
解答	×	×	×	×	○

番号	21	22	23	24	25
解答	○	○	×	○	○

択一法

番号	1	2	3	4	5
解答	□	イ	イ	□	□

番号	6	7	8	9	10
解答	□	ニ	ニ	□	ハ

番号	11	12	13	14	15
解答	□	ハ	イ	イ	ハ

番号	16	17	18	19	20
解答	ハ	ハ	イ	イ	ハ

番号	21	22	23	24	25
解答	ニ	イ	ニ	□	イ